



ICT活用場面

小学5・6年 図画工作科
「ピクトグラム」
(全4時間扱い)

準備するもの

Windowsタブレット

インターネットの利用

有

ICT活用のメリット

やり直しのハードルが低いため試行錯誤できる

紙に描いた下絵を撮影し、レイヤーに線画として描き込むことで、色の変更やイメージの構成を絵の具よりも簡単にできる。取り消しボタンがあることで、失敗を恐れずに様々なアイデアを練ることができる。レイヤーを切り替えることで作品を見比べることもできるため、画面を見せ合いながらどのイメージが見やすいか互いに聞いて、ピクトグラムとしての機能を考えることができた。

授業の様子

- 児童A：（画面を見せ、レイヤーを切り替えながら）どちらの色がいいと思う？
- 児童B：紺色だと暗すぎてしまうかもしれないけど、話し声を表す黄色の模様と合わせれば見やすいかもしれないね。
- 児童C：背景で悩んでいるんだけど、図工室だからちょっと落ち着いたおしゃれな色合いにしたいからいろいろ試してみよう。

授業の一例(3/5時)

本時のねらい

伝わりやすいピクトグラムになるように色の構成を考えよう。

主な学習活動

- 1、本時のめあてを確認する。
- 2、前時線画にしたデザインとレイヤーを分けて色をつけていく。
- 3、一つの色ができたなら、別の色で塗る。
- 4、考えられるだけ様々な色のパターン案を作り、塗っていく。
- 5、できた案を比べながらより伝わりやすく、自分のイメージとあったデザインを選ぶ。
- 6、振り返りを行う。

※レイヤーを分けて色を塗らせることを忘れない。また、別の案ができて元々の案をすぐに削除せず、比較対象として残す。



児童・生徒の声または教師の声

- ・はみ出したりしてもすぐにやり直せるから気が楽になる。
- ・色も元々あるものを使えるから、色を混ぜる苦勞がない。
(児童の声)